



行田市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因と考えられる気候変動の影響により、世界各地で記録的な高温、大雨、大規模な干ばつ等の異常気象が多発しています。国内においても、過去に経験したことがないような猛暑や集中豪雨などが頻発しており、今後さらに大規模災害等のリスクが高まることが予測されます。国においては、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、この目標達成に向け、地球温暖化対策推進法の改正とともに、地域の脱炭素化を促進するための「ロードマップ」を発表しました。

また、2021年8月に公表された「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の第6次評価報告書では、向こう数十年間に温室効果ガス等の排出が大幅に減少しない限り、21世紀中には地球温暖化は1.5°Cないし2°Cを超えるとしています。さらに、イギリスで開催された「国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）」では、地球温暖化を1.5°Cに抑える目標に向かって世界が努力することが正式に合意されました。

このような国内外の動向を踏まえ、行田市においても、先人から受け継いだこの自然環境を守り育み、後世に引き継いでいくためには、SDGsの理念のもと、市民・事業者・行政が一体となり、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進することが不可欠です。

行田市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを、ここに宣言します。

令和4年1月5日

行田市長

石母道彦